

毎週日曜発行

2022 1/9

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

冬休み明け、「学校に行きたくない」という人もいるかもしれないね。国連の持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標の一つに「質の高い教育をみんなに」があるよ。さまざまな事情で十分



地球のためにできること

学ぶ権利守る社会に

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

困難かかえる子を支える



な教育を受けられない子どもは、世界にも日本にもいるんだ。

海外には、家が貧しく働かなければならなかったり戦争からの避難を強いられたりして、学校に通えない子どもが大勢います。女の子は10代前半で結婚や出産、子育てを余儀なくされるケースも少なくありません。



国連教育科学文化機関（ユネスコ）の統計によると、世界の15歳以上の6人に1人が字の読み書きができません。そうした人は収入の高い仕事に就けず貧しいまま、その子どもも学校に通えな

くなる。「貧困の連鎖」と呼ばれる問題です。

日本では小中学校が義務教育で、誰もが最低限の教育を受けられます。

しかし、貧困状態にある子どもは7人に1人といわれ、高校や大学に進学できない子もいます。何らかの事情で学校に通

えなくなった不登校の児童生徒も増えています。



「安心して学べるという権利から、排除されている子どもたちが存在している」。子どもの学習支援を行う仙台市のNP



アスイクのフリースクールでスタッフ（奥）のアドバイスを受けて活動ブログを書く高校生。「ここはいろいろな人に会えて楽しい」と語る＝仙台市宮城野区

〇法人アスイクの代表理事、大橋雄介さん（41）はこう語ります。

大橋さんは2011年、東日本大震災で被災し避難所で過ごす子どもへの勉強を支援する活動をスタート。今ではひとり親家庭などの子の学習支援、不登校の子たちの居場所となるフリースクールの運営も行っています。

貧困や不登校、障害、介護が必要な家族がいるなど、子どもたちの事情はさまざま。大橋さんは「どんな困りごとがある子でも支えられる社会が望ましい。一人一人の生きづらさと向き合い、子どもの学ぶ権利を守る社会インフラになりたい」と力を込めます。

◇ 当たり前のはずの学校生活や勉強できる環境が、当たり前ではない子どももいる現実。みんなはどう思ったかな。

今週の注目ニュース

◇10日（月） 成人の日

大人の自覚を持った若者を励ます日で、全国各地で成人式が開かれるよね。でも、法律改正で成人年齢は今年4月1日、20歳から18歳に引き下げられるんだ。成人式の対象年齢が下がる自治体が出てくるかもね。

きょうの紙面

- 2面 ホップ・ステップ・プログラミング
- 3面 タイニーマスク
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 スチューデントシティ支局員紹介